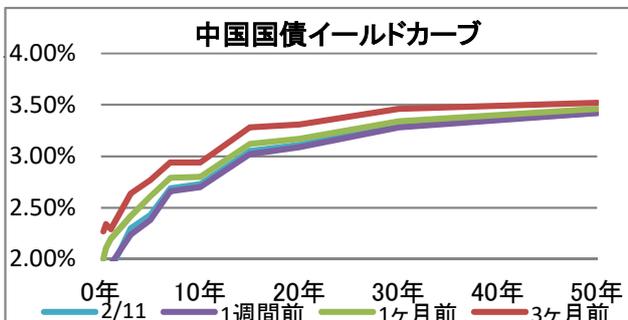
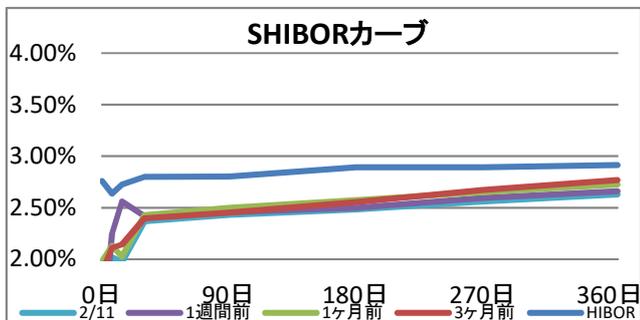


①市場概況

基準レート		2022/2/11	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3681	-0.0065
	JPY/CNY	5.4869	-0.0378
SHIBOR	3M	2.4320%	-0.0250%
国債利回り	10年	2.73%	+0.03%
上海総合指数		3,462.95	+101.51



(1) 概況

国際金融市場では、欧米中央銀行の積極的な金融引き締めへの懸念に加え、ウクライナ情勢の一層の緊迫化に伴うリスクから防衛的な動きとなった。米FRBの金融政策を占う米CPIは予想を上回る高い伸びとなって大幅金融引き締めへの懸念が高まり、米国10年債利回りが上昇して2%を上回ったものの、その後にFRB理事の慎重姿勢が伝わり、ロシアのウクライナ侵攻懸念が高まると、原油価格が急騰し、株式市場は下落、債券市場では買戻しから利回りが低下に転じている。

中国金融市場では、春節明けに株式市場の下落が懸念されていたものの、大きな波乱もなく、材料難から株式市場、債券市場、外為市場ともに小幅な値動きとなった。

中国では、米中通商合意未達の影響が懸念される中、米ブラックロックが出資する中国の資産管理会社に広州と成都での年金向け資産管理商品提供が認可され、国外株式市場との相互取引制度を従来のロンドンにドイツとスイスを加える規定を施行し、シンガポールとのETFの活用拡大を協議する等、対外開放姿勢を堅持している。また、中国人民銀行は、低賃料の賃貸住宅建設融資に対する規制を緩和し、銀行間債券市場債券レボ管理法により市場整備を進め、貨幣政策執政報告で今後の金融政策について、安定的で景気循環を跨ぐ長期の調整、資金余剰とせず実体経済の要求を満たす効果を考慮した政策の量と構成にする考えを示した。銀保監会は信託保障基金管理法のパブコメ募集を開始。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、春節休暇前に資金を潤沢に供給していたリバースオペ期日9,000億元に対し、新規のリバースオペ1,000億元を実施し、8,000億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

財新PMI (1月) は、サービス業が51.4 (12月53.1)、総合が50.1% (同53.0)、いずれも前月を下回った。サービス業では輸出受注が減少に転じる等、需給ともに減速感を強めており、雇用の悪化も指摘されている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レボ	NCD AAA
ON	1.8120%	1.8000%	1.8000%	
1W	2.0210%	2.2800%	1.9500%	
2W	1.9720%	2.2000%	1.9000%	
1M	2.3690%	2.3000%	2.3000%	2.0500%
3M	2.4320%	2.6500%	5.5000%	2.2500%
6M	2.4830%	3.1800%	2.5000%	2.3100%
9M	2.5630%	3.7500%		2.3900%
12M	2.6290%	3.2500%		2.4500%

春節前に中国人民銀行が実施した積極的な資金供給が期日を迎えて大幅な資金吸収となったものの、資金需給に問題はなく、足元金利も週半ばには1%台に低下している。ターム物は1ヶ月物の2.20%前後出合いが中心ながら、金利水準は全体的に低下している。

NCDは、非常に活発な取引により金利水準も低下している。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.05%前後、3ヶ月が2.25%前後、6ヶ月が2.30%前後、1年が2.45%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.10%	0.13%
3M	0.35%	0.40%
6M	0.50%	0.60%
12M	0.65%	0.75%

中国本土のドル資金市場は、引き続き需給が安定しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.10%前後、3ヶ月は0.35%前後、6ヶ月は0.50-60%となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.66%	1.72%	2.27%	2.43%	2.71%
6M	1.83%	1.83%	2.35%	2.44%	2.72%
1Y	1.90%	2.06%	2.46%	2.48%	2.80%
3Y	2.30%	2.48%	2.68%	2.77%	3.51%
5Y	2.43%	2.68%	3.06%	3.16%	4.04%
10Y	2.73%	3.01%	3.47%	3.65%	4.56%

債券市場では、中国市場に対する国際的な金融情勢変化の影響が強まる中で、中国人民銀行による金融緩和姿勢を背景とした短期資金市場での金利水準の低下から短期債利回りが低下する一方、欧米での積極的な金融引き締め懸念もあって長期金利の動きは極めて限定的となり、スティーピングが進んでいる。

イールドカーブは、中国国内景気見通しと金融緩和期待から短期債の利回り低下が続いたことからスティーピングが進んでおり、利率債市場においてその傾向がより強くなっている。クレジットスプレッドは、利率債の短期利回り低下が大きいため縮小する一方で、中長期では信用債利回りが小幅低下したこともあって縮小に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	27.7 / 20.0
1M	121.1 / 121.5
3M	330.0 / 333.0
6M	577.0 / 585.0
9M	792.0 / 796.0
12M	972.0 / 977.0

対ドル基準レートは6.3681と前週末比-65pipsのドル安元高、対円基準レートは5.4869と同-378pipsの円安元高と、期待された米中金利差縮小による「春節後のドル高」とはならなかった。国内市場では、ドル高期待はあるものの、投資資金流入等によりドルの上値は重い一方、人民元を積極的に買い進められる水準でもないことから極めて狭いレンジ内での取引が続いている。

先物は、米中金利差縮小見込みによるスワップ幅の縮小が一段と進み、1年物は1000を割り込むまで縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.12%		1.94%
6M	2.13%	2.45%	1.97%
9M	2.14%	2.45%	2.00%
1Y	2.15%	2.47%	2.01%
3Y	2.32%	2.70%	2.33%
5Y	2.53%	2.94%	
7Y	2.68%	3.10%	
10Y	2.84%	3.26%	

スワップ金利は、利率債利回り、短期基準金利ともに大きな変動はなかったものの、金曜日に社会融資規模と新規貸出等のデータが予想を上回ると上昇。これにより債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。